

事務事業実施状況及び経営状況 評価シート（令和3年度分）

団体名	株式会社駿府楽市	所管課	産業政策課
基本理念	市民が誇れる地場産業のアンテナショップを目指して		

《経営計画書 取組状況》

1 事業面における取組状況等

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
1 地場産業界の経済的自立支援事業 (関係課：産業政策課)	(1)売上(千円) ① 駅楽市	目標	—	—	208,000	210,500	214,000
		実績	243,210	210,974	110,424	139,558	
		進捗状況	—	—	未達成	未達成	
	(1)売上(千円) ② イベント	目標	—	—	3,800	4,000	4,200
		実績	3,277	5,458	1,612	4,250	
		進捗状況	—	—	未達成	達成	
	(1)売上(千円) ③ 外商	目標	—	—	48,200	48,500	48,800
		実績	53,353	52,419	36,004	38,755	
		進捗状況	—	—	未達成	未達成	
	(2)テストマーケティングによる商品の取扱件数(件)	目標	—	—	5	8	12
		実績	3	3	5	10	
		進捗状況	—	—	達成	達成	
取組状況 達成に向けた課題等	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、GWや夏休みの繁忙期のJR利用客の大幅な減少があり、特に土産類の売上が回復できず、対前年比では126%と伸びたものの当初目標は達成できなかった。</p> <p>遠方からの集客が十分に見込めないため、店の商品構成、陳列など地元消費者に合わせ変更をかけた。積極的な接客により来店者へのアプローチを強化した。工芸品関係においては職人とのコラボ商品の開発も行い自宅時間が増えた中、暮らしを楽しむアイテムを提供した。店外イベントは出店機会が大幅に減ってしまったが、人に集まることへのアプローチという考えのもと郵便局などでの販売等にも取り組み始めた。</p> <p>外商はふるさと納税の提供アイテムの見直しを行い、注文件数が283件と前年度比1.4倍に増やすことができた。</p> <p>今後も生活様式の変化に合わせた売場の見直し新商品開発や品揃えを各業界を交えて検討し、目標の達成を目指したい。</p>						
関係課意見	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は令和2年度に比べて、若干緩和され、人流は回復傾向に向かっていたものの、駿府楽市の営業活動に与える影響は甚大であり、売上目標は未達成であった。</p> <p>駅店舗、イベントでの売上減を補うべく、郵便局での販売、ふるさと納税の返礼品の見直しなどの経営努力が見られ、新作商品のテストマーケティングの件数も伸びており、今後の成果に結びつくことに期待したい。</p>						

	項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
2	2 特産品展示コーナーを拠点とした情報発信 (関係課:産業政策課)	(1)来場者数(人)	目標	—	—	390,000	395,000	400,000
			実績	432,670	383,820	166,580	204,460	
			進捗状況	—	—	未達成	未達成	
		(2)企画展売上(千円)	目標	—	—	15,000	15,100	15,300
			実績	16,548	14,064	9,479	12,077	
			進捗状況	—	—	未達成	未達成	
		(3)PR動画放映日数(日)	目標	—	—	362	364	364
			実績	362	362	309	—	
			進捗状況	—	—	未達成	—	
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、駅利用者をはじめASTY館内も閑散とした状態が続いた。緊急事態宣言などもあり、感染リスクを避けるため職人によるアテンドや実演、ワークショップなども控えざるを得ない状況だった。</p> <p>令和2年度に比べ来場者は若干増えたもののコロナ前の状況には及ばず当初目標を達成できなかった。厳しい状況ではあったが、徹底した感染症対策を講じた上で、年間26回実施した企画展を通じて、自宅時間が増えたことをポイントに「暮らしを楽しむ」をテーマに地場の製品、物作りをPRした。特に年末年始の企画展示「正月展」では市民の皆様のコロナ明けの期待感もあり久々の賑わいを取り戻すこともでき好評をいただいた。今後新型コロナウイルスの感染状況にもよるが実演やワークショップなどを取り入れより広く地場産業のPRを行っていききたい。</p> <p>PR動画の放映については令和2年度まで指定管理施設「駿府匠宿」にて放映していたが、駿府匠宿の指定管理業務の受託終了に伴い、令和3年度は駅店舗への放映機器の新設を行い、令和4年度より再開予定である。</p>						
関係課意見	<p>JR静岡駅を利用する人々の減少に伴い、必然的に来場者数は大きな影響を受け、目標は未達成となった。</p> <p>そのような状況下でありながら、企画展示については、各業界と調整を図り予定通りの回数を開催できたことは評価できる。</p> <p>今後は、駅店舗での対面でのPR活動だけでなく、各種報道媒体やSNS等の活用など新たなPR方法について、業界と連携し実施することを期待したい。</p>							
	項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
3	3 伝統産業の保存・継承事業 (関係課:産業政策課)	(1)職場体験・インターンシップ等の利用者数(人)	目標	—	—	2	2	3
			実績	5	6	0	0	
			進捗状況	—	—	中止	中止	
	(2)ワークショップ実施回数(回)	目標	—	—	2	4	6	
		実績	1	2	1	1		
		進捗状況	—	—	中止	中止		
	取組状況 達成に向けた課題等	<p>令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等の影響により職場体験は実施できなかった。今後の受入れについては、コロナ禍における新しい生活様式による部分も大きく影響するが、職場体験等は、直に職人や業界関係者と繋がる機会であり、大変意義深いと考えているため、引き続き受入れに向けた準備は整えていきたい。</p> <p>ワークショップの実施についても、感染拡大防止の観点から開催調整が難しく、目標を達成できなかったが、物づくりへの関心など興味をもってもらえる良い機会と考えるため、次年度に向けて出展予定者と開催調整を行い実施していきたい。</p>						
関係課意見	<p>職場体験やワークショップなどは、主に若年層に対して伝統工芸に触れるきっかけづくりとなる事業である。</p> <p>今後は、新しい生活様式の浸透具合、ワクチン接種の動向を注視し、十分な感染症対策を講じた上で、開催できるように、実施方法の見直し、関係者とのネットワークの維持・構築をされるように期待している。</p>							

2 経営面における取組状況(組織・人材・財政面等)

項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
1 人材的な基盤	OJTなど職場研修の実施	目標	—	—	3	3	3
		実績	1	1	3	5	
		進捗状況	—	—	達成	達成	
	有給休暇の取得	目標	—	—	年5日	年7日	年10日
		実績	年5日	年5日	年5日	年5日	
		進捗状況	—	—	達成	未達成	
取組状況 達成に向けた課題等	<p>専門的な商品知識の共有や経理関係の業務などの分担を行うためのOJTは随時行った。また接客技術の向上のため、調査会社による店舗調査資料に基づき改善指導をはかった。有給休暇の取得については、コロナ禍における出勤調整を行うなどの影響もあり調整が難しくかったため、未達成となった。職員のモチベーションの維持・向上にも繋がるため、引き続き計画的な有給休暇の取得ができるように職場環境を整えていく。</p>						
所管課意見	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による出勤調整などイレギュラーな対応が生じた中、有給休暇について目標は達成できなかったものの、例年の水準は維持できている。限られた人材資源を効果的に活用するためにも、従業員の能力、モチベーションの維持・向上は大変重要であるため、研修だけでなく、業務を通じて各社員の育成を目的とした業務配分の見直し、業績評価の導入などの検討をお願いしたい。</p>						
項目	評価指標		H30	R1	R2	R3	R4
1 財政的な基盤	改修計画作成及び見直し	目標	—	—	計画作成	計画見直し	計画見直し
		実績	—	—	実施	実施	
		進捗状況	—	—	達成	達成	
	改修計画の執行	目標	—	—	計画執行	計画執行	計画執行
		実績	—	—	実施	—	
		進捗状況	—	—	達成	—	
取組状況 達成に向けた課題等	<p>令和3年度は主に商品ディスプレイ用の什器等の修繕を計画していたが、将来の総合的な店舗改善を見据えた計画の策定に合わせて実施することとし、改修計画を見直し、什器修繕の実施は見合わせた。コロナ禍において、厳しい経営状況だったが、改装積立準備金として200万円を確保できている。今後も販売活動による収益確保により先々に向けた改修費用の捻出を図りたい。</p>						
所管課意見	<p>店舗のあり方、商品の魅せ方を見直し、将来像を見据えた計画的な改修が必要である。令和4年度中に駅店舗の将来像を検討し、経営計画を策定することとなっており、経営計画にあわせた令和5年度以降の改修の実施をお願いしたい。</p>						

3 団体の経営状況の総括

令和2年度をもって、静岡市の指定管理施設「工芸と歴史の体験施設 駿府匠宿」の指定管理業務の受託を終了し、令和3年度よりJR静岡駅の駿府楽市(駅楽市)店舗のみの運営という30年前の創業時の形に戻り、販売活動を行いました。一年を通しコロナ禍でJR新幹線の利用率が半減という状況が続き、旅行客や出張客の減少とともに売上構成比で7割を占めるお土産(食品)の購入額の落込みにより店全体の収益も大打撃を受けました。また各種イベントや大会なども中止が相次ぎ記念品等の受注にも大きく影響を受けました。売上は前年比で126%と増加しているもののコロナ前(令和1年度)との比較では66%と大変厳しい結果となりました。また上期は匠宿からの移行にかかわる業務も残り、費用負担も発生するなか、人件費、一般経費の見直し削減を行い会社運営の安定化を図りました。営業利益では大幅な赤字となりましたが国や市など行政による各種補助・支援金等の活用により、営業外利益の確保をし、最終的な営業収支ではプラスマイナス0と厳しい一年を乗り切ることができました。

4 今後の方針／新たな課題 など

コロナ禍による生活行動様式が大きく変化したことによりすべてを以前の状況にもどすことは困難と思われます。特に観光関係による売上げが回復するまで、相応の時間を要することが想定されるため、変化する消費環境に合わせた品揃えや店舗作りを行っていくと同時に店舗知名度をあげ地元市民の消費拡大を図っていきます。工芸品関係では展示コーナーを中心にSNSを利用した集客や職人とのコラボによる新商品の開発をより積極的に行い地場産業界と連携を強化します。外商・イベント関係ではふるさと納税の強化、郵便局などでの特設販売の推進を行い収益強化を図っていきます。また従業員の人件費や教育の見直しを行いモチベーションをもって働ける環境の整備にも取り組んでいきます。

匠宿からの移行やコロナ禍での運営で着手できていなかった人材の問題等、将来的な運営課題を整理し改善に取り組んでいきたいと思ひます。

※経営計画書の見直しが必要な場合には、その理由とともにその旨記載してください。

5 市への要望・意見

地場産業、及び特産品の商品供給が今後ますます難しくなっていくことが予想されるなか、一体となって業界の支援を引き続きお願いしたいと思ひます。

6 パートナーとしての市の取組(所管課記載)

- ・毎月の定例会の開催
定例会を通じて、月次の運営状況や事業の実施状況の把握に努めた。課題の共有、意見交換、国・県・市等による施策に関する情報提供を行った。
- ・取締役会への出席
取締役会の機会を通じて、税理士などの専門家の意見を踏まえた経営状況を確認することで経営基盤の安定性について評価をした。
- ・市の関係課との調整
(株)駿府楽市の会社としての使命、役割や現況について情報提供や意見交換を関係課等を交えて行い、スムーズな事業実施に向け調整を図った。
- ・アセットマネジメント個別施設計画による施設の修繕計画の策定と共有
駅店舗の一部は市が所有する特産品展示コーナー(行政財産)となっており、アセットマネジメント個別施設計画による計画的な修繕を行っている。駿府楽市が整備する販売コーナー、事務所部分と合わせて効率的な修繕を実施するため、修繕計画の共有を行っている。

7 所管課による総合評価・意見(所管課記載)

令和2年度に比べ、新型コロナウイルスの影響は多少緩和されたものの、静岡駅店舗におけるお土産品販売が主力となっている現在の業態では、営業収益への影響は引き続き大きかった。

また、令和2年度をもって、これまで20年超に渡り管理運営に携わってきた駿府匠宿の指定管理事業の受託を終了し、令和3年度は、引継ぎ処理、残務整理に労力を費やした。

令和4年度より駅店舗の経営に専念する体制にシフトし、今後の会社の継続・発展の方向性を決める重要な局面を迎えている。

外郭団体として求められる地場産業における経済性と公共性の両立、人材育成、経営基盤の安定のため、市としても継続してフォローしていきたい。

社会状況の変化に機敏に対応し、人件費の削減をはじめとした営業費のコストの圧縮、また、国など行政によるコロナウイルス関連の経済支援対策を確実に履行するなど、経営努力は評価に値する。

今後は、市との連携強化はもちろんであるが、人材育成、若手や女性の活躍推進を行い、外部の専門家の協力を受けるなど、現在の業態を維持するだけでなく、新たな発想による経営改善に取り組んでいくことを期待したい。